

教育学科

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

教育学科は、生涯にわたる人間の成長を教育学の幅広い基礎知識と深い専門知識に基づいて理解し、教育に関わる実践と諸問題の解決方法を複眼的な視点から探究する学科である。そのうえで、教育コミュニケーションという側面から、多様な他者と協働し教育を核とした既存社会の変革と持続可能な社会の創造を主体的に推進できる人を育てていくことを目指している。

本学科が求める学生像は、以下のとおりである。

【求める学生像】

- ・教育に関わる幅広い学問領域に興味がある人
- ・学校教育の意義や教師の役割に関心がある人
- ・教育的事象や社会の諸問題に興味がある人
- ・教育の望ましいあり方を探究しようとする人
- ・学びを支援することに関心がある人
- ・他者と協働して社会をよりよく発展させていく意欲がある人
- ・自らの成長のために学び続けたいと望む人

【高等学校段階までに修得すべき学力】

- ・全教科にわたる基礎的な学力
- ・論理的に物事を考える基礎的な思考力と、自分の考えをまとめ他者に正しく伝える基礎的な表現力
- ・他者とコミュニケーションを取り、協働して物事に取り組む力

上記の学力を身につけているかを判定する入学者選抜試験を以下の基本方針で行う。

(1) 一般選抜

一般選抜では、各入試区分で課している科目における基礎的な知識を身につけているかを、思考力および表現力も加味しながら判定する。

・一般選抜（個別選抜型）

筆記試験により、国語、外国語（英語）に加え、地理歴史または数学における基礎的な知識を身につけているかを、思考力および表現力も加味しながら判定する。

- ・一般選抜（英語外部試験利用型）

英語外部試験を利用して英語の4技能をバランスよく十分に修得しているかを判定する。さらに筆記試験により、国語に加え、地理歴史または数学における基礎的な知識を身につけているかを、思考力および表現力も加味しながら判定する。

- ・一般選抜（大学入学共通テスト利用型前期）

大学入学共通テストの国語、外国語、地理歴史・数学・理科のうち1科目の計3科目の試験によって、それぞれの科目における基礎的な知識、思考力および表現力を身につけているかを判定する。

- ・一般選抜（大学入学共通テスト利用型後期）

大学入学共通テスト利用型前期と同じ方針で判定する。

(2) 総合型選抜

総合型選抜の第一次選考では、調査書を用いて高等学校等における取り組み状況を調査し、高校までに身につけるべき基礎的な知識と技能、主体性および協働性を総合的に判定する。また、全学科共通課題を通して主体性、論理的思考力および表現力を判定する。第二次選考では、適性検査（筆記試験）にて資料を読み取る力、論理的に考える力、自分の意見を文章で表現する力を判定する。さらに、口述試験では教育学科を志望した理由、興味のある社会的事象、在学中の学業以外での活躍、社会に貢献したいと思っていることなどについて審査する。以上の調査と試験を通して総合的に判定する。

(3) 学校推薦型選抜

高等学校等学校長によって推薦された人は、高校までに身につけるべき基礎的な学力を有していると判断する。さらに、出願書類と面接試験（口述試験）によって、学修や研究への意欲、自分の考えを表現する力、コミュニケーション力および協働性を総合的に判定する。

- ・学校推薦型選抜（附属高等学校推薦）

日本女子大学附属高等学校長が推薦する人を対象に、出願書類と面接試験によって総合的に判定する。

- ・学校推薦型選抜（指定校制）

本学科が指定する高等学校（指定校）の学校長が推薦する人を対象に、出願書類と口述試験によって総合的に判定する。

・学校推薦型選抜（公募制）

高等学校長が推薦する人を対象に、小論文にて論理的な思考力と表現力を判定し、口述試験にてコミュニケーション力、表現力および他者と議論する力を判定する。出願書類も合わせて総合的に判断する。

(4) 外国人留学生

日本留学試験の日本語および総合科目の2科目の試験によって、十分な基礎学力を有しているかを判定する。出願書類および口述試験によって、学修意欲、主体性、日本語能力、コミュニケーション能力、他者と議論する力を審査し総合的に判定する。

(5) 編入学・学士入学

大学・短期大学・高等専門学校を卒業した人（見込みを含む）や他大学在学中の人を対象に、教育に関する小論文によって、大学2年次もしくは3年次に相当する専門的な知識を有しているかを審査する。出願書類（外国語外部試験を含む）および口述試験によって、外国語に関する十分な知識、および学修意欲、主体性、コミュニケーション能力、他者と議論する力を有しているかを審査し総合的に判定する。

(6) 社会人

本学の定める社会人入学試験の資格要件を満たす22歳以上の人を対象に、教育に関する小論文によって、高校までに身につけるべき基礎的な知識と技能および社会人としての思考力と判断力を有しているかを審査する。出願書類（英語外部試験を含む）および口述試験によって、英語に関する十分な知識、および学修意欲、主体性、コミュニケーション能力、他者と議論する力を有しているかを審査し総合的に判定する。